

工事写真報告書

工事番号 平成 28 年度

工事名 A 様 邸

工事箇所 外壁・その他 塗装工事

工事住所 北九州市 小倉南区 高野

工 期 着 手 平成 年 月 日

竣 工 平成 年 月 日

工事施工者 ベストホーム株式会社



外観



外観



外観



外観



外観



外観



塀

地面から水や湿気を吸いはき出す部分になり、この部分に耐久性の高い塗装や膜を張る塗装をおこなうと、膨れる恐れがありますので、通気性の良い塀の塗装をおこないます。



塀

同上



塀

同上



樋

こちらは塩ビ素材になります。
劣化すると割れが生じたりすることがありますので、塩ビ専用の下塗りをおこない塗装をしていきます。

箱樋のズレが見られます。

こちらは部分取替や補修をおこない塗装をしていきます。



樋

一部穴があります。
この部分は部分取替や補修をおこない塗装をしていきます。



樋

同上



雨戸

一度塗装をしていますが、劣化が見られます。

現状剥がれてなく、前回の塗装は防腐剤の入った木目が活きる染み込ませる塗装かと思いますが、もし膜を張る塗装をしている場合は同じ施工となります。



雨戸

同上



雨戸

防腐剤の入った染み込ませる塗装の場合は、劣化のバラつきもあり仕上りや色などの差がでます。

※染み抜き・あく抜き・汚れ取り等の薬品下地処理をすると問題なくなりますが、下地処理費がかなりかかります。



小庇

この部分は鉄、スチール素材になります。劣化するとサビが発生してきますので塗装が必要です。



廻り縁

対処方法

サビが発生しているうえに塗装をしてもすぐにサビが表面化してきますので、ケレン作業・サビ止め等の下地処理をおこない、塗装をしていく必要があります。



その他鉄部

同上



外壁 劣化部

外壁の旧塗膜の剥離が見られます。
このまま塗装をしても旧塗膜から剥
がれる恐れがあります。
密着の悪い旧塗膜を除去し、塗装を
していきます。



目地 クラック部

全体的に見られました。
この部分から雨水や湿気、炭酸ガス
等が直接侵入し躯体・外壁の痛みや
建物の寿命につながりますので、
シーリング等で補修ををおこない塗
装をしていきます。



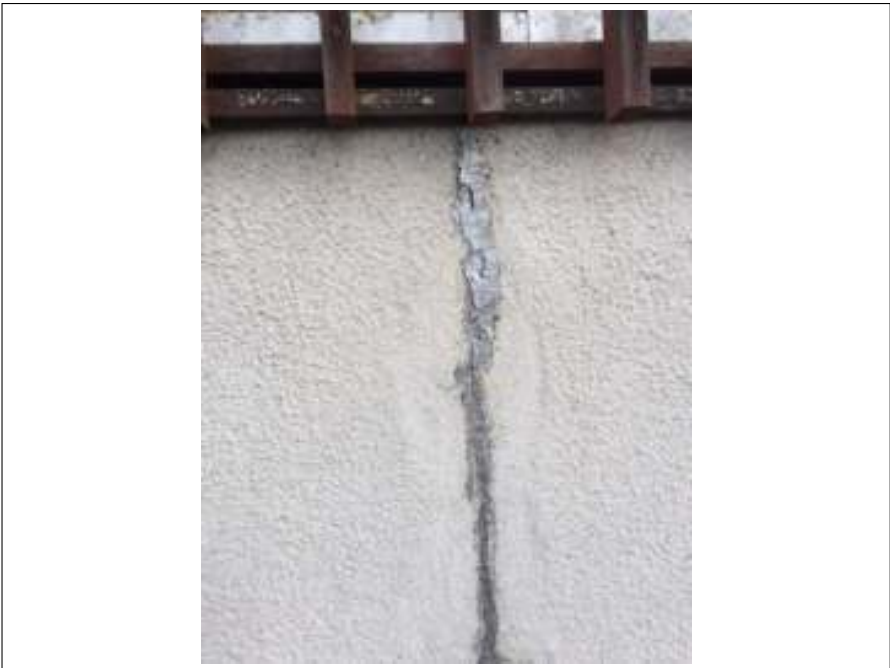
目地 クラック部

同上



外壁 クラック補修部

部分的に補修箇所があります。
前回の補修材が変性タイプであれば
塗装可能ですが、変性タイプで無ければ塗膜が密着しませんので、
プライマーもしくはシーリング補修
をおこない塗装をしていきます。



外壁 クラック補修部

同上



外壁 クラック補修部

同上



外壁 クラック補修部

同上



外壁 カビ発生部

高圧洗浄をかけてもカビの根は残り、いくら良い塗装をしてもカビの根が残っている上に塗装をしてもカビが表面化してきますので、カビ発生部はカビの根を殺す防カビ下塗りをおこない、下塗り・上塗り二回の三層四工程をおこないます。

作成者：戸高勇樹

劣化診断士

認定番号：13100230

